八千代市国際交流協会ニュース

ClipP

[くりっぴー]

第12号

第10回夏休みこども日本語教室に
4ケ国18人の子供が参加

2016年８月26日(金)，第10回夏休みこども日本語教室が八千代市中央図書館及び市民ギャラリーなどで開催されました。このイベントは，日本語を母語としない子供が日本語と楽しく接することを目的として，毎年夏休みに実施しているものです。今回の活動テーマは「多文化の絵本と本を探す」「シャボン玉アート製作・シャボン玉いっぱい作戦」。参加者は４ケ国18人の小中学生とボランティア，保護者など25人総勢43人。子供たちは色々な国の絵本を読んだほか，市民ギャラリーでシャボン玉アートに挑戦し最後にプレーパークで手作りのジャンボかるた取りを行い終了しました。(日本語指導ボランティア部会／長谷川安記子。２ページから３ページに関連記事)

▼最後はお手伝いしてくださった東京成徳大学の皆さんと全員で記念撮影

AMIGOこども日本語教室 課題は村上団地以外に居住する子供たち

2008年(平成20年)に開設されてから9年目を迎えるこの事業は，当初，毎週水曜日の午後2時から4時までの時間帯に開かれるのは，県内でもまれなケースとして注目されましたが，現在は土曜日に変更しています。子供たちの成長と笑顔を見ることが指導するボランティアにとり，何よりの喜びとなっているこの事業，日本語指導ボランティア部会が行った事業の経緯，取り組み方などについてご紹介します。

■ 契機は2007年開催のサバイバル日本語講座から

八千代市内には人口の2パーセント超となる外国籍居住者約4,300 人がいます。生活に必要な日本語習得のために，1992年(平成4年)市民ボランティアによる日本語教室が村上地区で初めて開設され，現在では村上団地，八千代台，高津団地，米本団地で9教室が展開，活動しています。

2007年(平成19年)に八千代市で実施された外国人の子供たちのための「サバイバル日本語講座」を契機として，外国人の最も多く住む村上団地に，2008年，八千代市と八千代市教育委員会，村上地区5小・中学校で協議の結果，「AMIGO(アミーゴ=友だち)こども日本語教室」が開設され，八千代市国際交流協会日本語指導ボランティア部会が運営しています。

当初，村上公民館で毎週水曜日午後に開催。2010年4月から土曜日午前に変更し，村上安心安全福祉センターに移転しました。2012年(平成24年)5月からは，八千代市多文化交流センターに教室を移しています。発足に当たっては，県内の日本語指導ボランティアや神田外語大学生など多くの方々の支援を得ながら，生徒を数人単位のグループにして，指導法，教材など試行錯誤を重ねながらの日本語学習支援でした。

■ 講師は様々な職域から 2010年度からは東京成徳大学が参加

当初，ブラジル，フィリピン，ペルーなど8か国，小・中学生のほかに既卒生など36人と多くの生徒が出入りしながらで，毎回15人程度が参加しました。学習者の中には，日本語による学習についていけないとか，友だち関係がうまくいかないなどから，不登校気味になったりする生徒がおりました。外国人の子供たちにとっては，同じ悩みを持つ生徒が集まる教室=居場所であることと同時に，学習支援に役立つことで学校生活を楽しく送れるようになることが必要，と考えられました。今では，毎年度数名の高校進学生が教室から出るようになり，高校を卒業して社会人として活躍又は大学へ進学するようになっています。

▲中央図書館職員の説明を受ける子供たち

日本語指導ボランティアには，子供や孫に勉強を見てやっていた経験を活用する人，元小学校や高校の先生，学習塾の講師，日本語指導ボランティア講座の受講者，大学生，会社員など多様な人材が集まってきています。学習時間終了後にボランティアが生徒の様子を見て感じていること，どのように指導して行くかなど，慣れない日本での学校生活の中で懸命に学習している生徒たちの成長に向け，話し合いながら活動をしています。時間を延長しても，快く会場を使用させてもらえることで，教室運営が円滑に継続できていると感謝しています。

2010年度から東京成徳大学が地域社会との協働作業として，このAMIGOこども日本語教室の活動に参加するようになり，世代の近い学生との触れ合いは受講生にとって楽しい時間であると言えます。また，毎年東京成徳大学祭に招かれ，多くの学生との触れ合いは楽しい時間となっています。学生にとって初めての外国人児童とのボランティア経験となる人も多く，将来，多文化共生社会の推進で積極的に活躍していただける人材になると，期待されます。

■ 東日本大地震の発生後は 日本生まれ，日本国籍を持つ子供が多数

2011年3月の東日本大地震発生後，村上団地の外国人居住者の転出も影響してか，新規の来日者が減少する一方で，日本生まれ又は日本国籍を持つJSL児童（日本語を母語としない児童）が教室の大勢を占めるようになっています。

▲学生さんからシャボン玉作りを教えてもらう子供たち

▲実際にシャボン玉を飛ばして遊びました

毎回十数名，開始時間の午前10時ころに受講生たちは三々五々集まってきます。「○月○日○曜日，天気○○」の学習から始まり，各自が持参してきた学校の宿題，教科書，絵本などを使い，受講生一人にボランティア一人がついて日本語を使って学習しています。休み時間にはボール遊び，縄跳びなどをして遊び，11時半からは絵本の読み聞かせ，トランプ，日本の遊びなどを通し，楽しく日本語学習をしています。12月にはクリスマス会を保護者や，普段顔を出さない受講生も参加し，各人の演技を楽しんでいます。

■ 今後の課題は？

ＡＭＩＧＯこども日本語教室開設に伴う展開として，2008年10月から始まった村上北小学校「わくわくクラス」，2008年12月から始まった村上東中学校の日本語教室，2011年６月から始まった村上小学校の日本語教室支援，2010年２月から始まった村上子供インターナショナル・サミットを支援しておりますが，今後の課題としては，村上地区以外に居住する外国籍児童・生徒に対する日本語教室の開設と，地域の学校との協働作業の推進による日本語習得活動の充実及び支援ボランティアの確保による継続，発展が急務となってきています。

なお，講師になられる方を募集しています。詳しくは八千代市国際交流協会事務局(TEL.047-752-0593／火・木のみ）へお問い合わせください。是非，この機会にあなたも応募してみませんか。ご応募をお待ちしております。**(日本語指導ボランティア部会／鈴木正俊)**

私・か・ら・も・一・言

このＡＭＩＧＯこども日本語教室で実際に担当しているボランティアの方々の中から，４人の方々にお話しを伺いました。

●田仲泰子さん／９時半には顔を出す姉妹。机や椅子を並べると，そのドやドアーの陰に隠れてしまう二人。後から来たボランティアに見つけられると大喜びします。遊びが済むとドリルやプリントを出して自習を始めます。中学生の教室は２階。ボランティアが三々五々集まり，10時に打ち合わせをします。子供たちがそろったところで，「今日は何月？何日？何曜日？　天気は？」で学習がスタートします。

●関戸信雄さん／外国に関わる子供が，日本の学校で円滑に学習できる一助となるよう，毎週土曜日に開催しています。小学校，中学校の教科書をもとに国語，算数ドリルを使用し，ボランティアが熱心に個別指導をしています。更に日本の習慣・文化なども併せて教えています。子供たちも真剣に学び，学力向上は確実に成果として表れています。将来，この子供たちが多文化共生に貢献する大人になることを楽しみにしています。

●関山しずかさん／この地域に住んで35年。八千代市にこのような素晴らしいボランティア活動があることを知りませんでした。アミーゴの子供たちと接している内に，親の文化と日本の文化の中でうまく調和を取りながら，自分を成長させているたくましさを感じます。素直で人懐っこく前向きな子供たちは，既に世界を見据えているような気がします。そんな子供たちの今を手助けし応援しているアミーゴは，私も勉強させてもらっている場所です。

●飯生洋子さん／中国から中２で来日したＦ君。日本語はまったく話せませんでした。毎週アミーゴに通い，熱心に日本語や英語，数学を学び，５教科受験でＫ高校に合格。今秋，Ｎ大学理工学部に合格しました。外国籍の子供たちは，母語でない日本語で教科の勉強をします。多くは日本語が十分理解できていないため，勉強についていけません。日本社会に適応できず，困難を抱えている子供や母国に帰る子供もいます。縁があって日本に来た子供たちが，少しでも楽しく日本で生活できるよう学習面から支援をするのが，私たちボランティアの役目ではないでしょうか。

▼村上中央商店街の夏祭りに参加した子供たち

▼東京成徳大学の翠樟祭に参加した子供たち

▼クリスマスパーティーも思い出に残るイベントです

新旧会長のごあいさつ

■■会長に就任して

会長　小　林　公　孝

この2016年４月24日に開催された総会において会長に選任された小林公孝です。よろしくお願いします。2006年，八千代市国際交流協会に入会，姉妹都市アメリカ合衆国テキサス州タイラー市には４回親善訪問団のメンバーとして参加しました。現在はいろいろな国際交流事業活動に参加しております。八千代市国際交流協会は国際姉妹都市部会，日本語指導ボランティア部会，語学ボランティア部会，国際交流促進部会の４部会で成り立っており，各部会では自主的に多様な国際交流や支援活動を行っています。

日本政府観光局によると訪日外国人観光客は2015年の実績は2,000 万人，更に2020年のオリンピックの年には4,000 万人，2030年は6,000 万人になると目標を引き上げています。また，八千代市には約4,300 人の外国人が居住しており，21世紀の今，我々の周りには更なる国際化の波が激しく押し寄せてきています。

八千代市国際交流協会としても国際化時代に向けて市民参加による外国人との交流事業を活発に行いたいと思っております。多くの市民が直接交流活動に参加されることにより国際感覚を養う貴重な機会になると思っております。今後ともご指導，ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■■名誉会長に就任して

名誉会長　周　郷　紀　男

このたび，2016年度定時総会におきまして会長職を退任し，名誉会長に就任しました。1992年５月，アメリカ合衆国テキサス州タイラー市との姉妹都市提携により，1994年３月に八千代国際姉妹都市委員会が発足し，2006年１月に市内国際関係の４つの団体の合流により，八千代市国際交流協会を設立して以来，会長としてその責務を果たすことができました。

タイラー市との交流やスポーツを通しての海外交流，在住外国人の方々への日本語指導や語学ボランティア活動など多彩な活動をやってこられたのは，関係各位のご協力ご指導の賜物と心からお礼を申し上げます。

特に４年前，国際姉妹都市部会による高校生10人のタイラー市訪問や，100 人にも及ぶチアリーダーの八千代市訪問など，若い人たちの交流が勢いを増す力となっております。両市の姉妹都市提携が文化・経済等に大きく寄与され，一歩ずつ実を結び大きな花が咲くことを期待しております。

今後とも，小林新会長をリーダーとして新布陣による活動と，様々な経験や知識を持った人たちが尊重し合い，暮らしやすい社会を作るため，八千代市全体の国際感覚の成長を期待しております。皆様のご多幸を心からお祈りし，ごあいさつといたします。

■■新役員が八千代市長，八千代市議会議長，社会福祉協議会会長を訪問

新しい役員が2016年５月27日（金），秋葉就一八千代市長を訪問しました。訪問したのは，小林公孝会長，江川典一副会長（日本語指導ボランティア部会），喜田茂副会長（語学ボランティア部会），鈴木康彦副会長（国際交流促進部会），小川剛毅理事（国際姉妹都市部会）の５人で，このほか八千代市議会の嵐芳隆議長，八千代市社会福祉協議会の櫻井豊氏にもごあいさつに伺いました。

▼市長を囲んで記念撮影

■■タイラー市から記念品

2016年５月下旬，タイラー市とタイラー姉妹都市委員会の連名で名誉会長である周郷紀男氏に退任記念品の盾が贈られてきました。2016年６月10日の理事会の前に周郷名誉会長にご出席をいただき，贈呈式を実施いたしました。また2016年11月初旬，タイラー・ジュニア・カレッジ（ＴＪＣ）から，90周年記念誌が贈られてきました。その中には2015年10月14日から19日までタイラー市を訪問した際の訪問団の集合写真が大きく載っており，大変素晴らしい記念誌でした。

▶いただいた盾

▲タイラー市からの退任記念品は小林会長から周郷名誉会長へ

◀ＴＪＣ90周年記念誌に掲載された親善訪問団

八千代へようこそ

市内の中学校では，現在６人の外国語指導助手（ＡＬＴ）が英語の指導をしています。９月に着任された４人の新しい先生をご紹介します。

■■英語を教えるだけだけでなく若者として成長する機会

シャティカ・クラークさん
（アメリカ・タイラー市）

ＡＬＴは，キャリアを完璧に結びつけることができる仕事だと考えています。海外で教えることで自分の文化を伝え，他の文化を学ぶ機会を得ることができます。最も重要なことは，家族・文化・教育の３つです。他の文化や習慣を自分の考えに取り入れながら，自分たちの文化を守っていくことが大切だと思っています。ＡＬＴとして，若い女性が派遣されることは，英語の授業だけでなく，若者の成長を助けることが出来ます。生徒と豊富な関わりを通して，効果的に学び，成長していける雰囲気を作り出すモデルの役割を積極的に果たしていきたいと考えています。

■■今の目標は生徒と心に残るつながりを持つこと

ローラ・デラモさん
（アメリカ・タイラー市）

大学の校訓は，グローバルの視点を身につけること，客観的に考える能力を高めること，道徳的な人格を達成すること，そして最も重要なことはグローバルシチズンになる準備をすることでした。豊かな美術と伝統文化がある日本に大きな興味と魅力を感じてきました。日本に住み，日本の社会に入る機会を得ることは，セントエドワードでの生活からグローバルシチズンへの転機になるだろうと考えています。八千代のＡＬＴに参加する機会が与えられた今の目標は，八千代市の生徒と心に残るつながりを持つことです。タイラー市で成長した私が，卒業後すぐにアメリカ市民としての役割をできるだけ果たしていきたいと考えています。

■■ＪＥＴへのＡＬＴ申込理由は教えることが好きだから

クリスティン・ブラットさん
（アメリカ・アリゾナ州）

ＪＥＴ(外国青年招致事業)申込理由の一つは，教えることが好きだからです。生徒とのやりとりや「分かった」と晴れやかな表情を見ることが一番のご褒美。３年前に美術教育マンガ「カム・ラウダ」の学位を習得。美術を教えることは，英語を教えることと少し違いますが，原則は同じ。何の内容でもどんな方法であっても生徒の成功を目指して働きます。実習最後の学期で，６年生から８年生の生徒と触れ合う中学年を担当。毎日が新しい冒険であり，生徒たちについて多く学び，美術が得意という一面は，生徒を視覚的に助け，創造的で新しい方法で情報を与えることができ，手作りのワークシートが作れる利点になると考えております。

■■アメリカに帰国した時学んだことを伝えたい

メアリー・テイラーさん
（アメリカ・ミネソタ州）

海外で教えたい理由は，自分の教育技術を磨き，国を理解してもらい，自分の経験から学び，アメリカに帰った時に自分が学んだことを伝えたいからです。海外が日本である理由は，ずっと日本の文化に特別な興味を持っていたからです。日本の漫画を見てゲームで遊びました。日本で英文法や発音を教えることも楽しみですが，一番の楽しみは生徒と話をすることです。故郷やアメリカの文化についてなどお話ししてみたいです。その新しい情報と生徒のこれまでの知識を結びつけた感想を聞きたいのです。いつもwin win の関係を感じられること，生徒と自分がお互いに学べ，そして生徒は，自分自身でつながりを作ることで少しだけ勇気づけられるはずだと考えています。

■■平成28年度予算概要は次のとおり

八千代市国際交流協会の平成28年度予算が平成28年４月24日に行われた総会で決まりました。その概要は次のとおりです。

●収入　　単位：円

科目		金額
1. 会費収入	1. 会費収入	543,000
2. 補助金	1. 補助金	1,100,000
3. 繰越金	1. 繰越金	59,736
4. 雑収入	1. 雑収入	264
合計		1,703,000

●支出　　単位：円

科目			金額	摘要
1. 事業費 1,185,000	1. インターナショナルデー 300,000	謝金	140,000	出演者・協力者謝金
		需要費	150,000	ポスター制作・事務用品など
		役務費	10,000	イベント告知など
	2. 広報事業費 170,000	需要費	120,000	広報紙「cliP」印刷
		委託料	50,000	HP制作委託料
	3. 部会事業費 715,000	部会事業費	715,000	国際姉妹都市部会，日本語指導ボランティア部会，語学ボランティア部会，国際交流促進部会，タイラー親善訪問等推進業務
2. 事務費 499,000	1. 事務費 499,000	需要費	55,000	事務用品・会議用茶菓代
		役務費	55,000	会議通知・資料送付・電話代等
		備品費	40,000	備品
		人件費	311,000	事務職員給与等
		研修費	10,000	研修参加費補助
		負担金	10,000	千葉県国際交流センター団体会費
		交際費	18,000	
3. 予備費 19,000	1. 予備費 19,000	予備費	19,000	
合計			1,703,000	

■ 第4回日本語ボランティア活動の説明会を7月2日に開催

今年も2016年７月２日（土）午後１時30分から八千代市多文化交流センターで日本語ボランティア活動の説明会が行われました。今回の活動希望者は，男性２名，女性６名のほか事前に八千代市国際交流協会に入会，教室訪問等を終えている男性希望者１名を加え，９名となりました。講師の美川克子先生からは25年に及ぶ八千代市での活動を踏まえ，各参加者のボランティア活動の経験の有無と居住地域を確認しながら「八千代市の日本語教室の成り立ち」に続き「教材，ボランティアとしての心構え」を説明。日本語ボランティアは何よりも根気が重要であり，活動希望者は事前連絡の上，自分に合う活動の場を見つけてほしいとのお話しがあり，和やかな雰囲気で説明会を終えることができました。**（日本語指導ボランティア部会／江川典一）**

▼熱心に説明に聞き入る皆さん

■ 第16回語学研修旅行 ALTと秋の富士山・山中湖を楽しむ

今年は，初めて一般公募の市民が11名参加し，ＡＬＴのダイアナさん，シャティカさん，ローラさん，クリスティンさん，メアリーさんの５名を含め，総勢30名で，10月14日（金）～15日（土）に行いました。

訪問先は富士山五合目，富岳風穴，忍野八海，山中湖，横浜中華街でした。バスの車中はもとより，山中湖のペンションでのＡＬＴの英語スピーチ，その後の懇談会等々，初参加の方も英語が不十分な方でもＡＬＴと大いに会話をされて，初体験を楽しんでもらえたようです。翌日は快晴となり，富士山を眺めながらの山中湖での花の庭園散策となりました。その後，中華街での昼食と散策をし，海ほたる経由で八千代市に戻りました。初参加の皆さまは普段はあまり使わない英会話をされ，英語に親しむ良い経験になったと思います。**（語学ボランティア部会／喜田茂）**

▼富士山を背景に記念撮影

■ 今年のハロウィンは会場を変え 生涯学習プラザ多目的ホールで

「ハロウィンフェスタ2016」が2016年10月22日（土）八千代市生涯学習プラザ多目的ホールで開催されました。

「ハッピー・ハロウィン！」という元気なごあいさつで始まった今年のハロウィンフェスタ。ディズニープリンセスやダースベーダー，スーパーマリオ，他にも可愛らしく楽しい仮装で約40人の子供たちが集まってくれました。

ＡＬＴの５名も仮装して仲間入り。ハロウィンの定番ソング＆ダンスやゲームで盛り上がりました。八千代市国際交流協会の中で「ハロウィン」は，市民の皆さんとの触れ合いを通して，外国文化の理解につながる行事です。当日，生涯学習プラザ多目的ホールに入ってみると，頭上にはカラフルな風船，壁面には手作りの巨大モンスターが装飾され，思わず笑顔になりました。参加した子供たち，ご家族もそれを見て，始まる前からワクワクされたに違いありません。

会場装飾，ワークショップのご協力をいただいた八千代市市民ギャラリーの作田館長をはじめ，スタッフの皆さまには心より感謝申し上げます。「ハロウィン」は収穫を祝うお祭りですが，八千代市国際交流協会への理解や認知もイベントを通じて大きく実らせたものです。**（国際交流促進部会／花島美記）**

▼参加した子供たちとＡＬＴの皆さんで記念撮影

■ 第11回八千代インターナショナルデイ ハロウィンをテーマに新趣向を楽しむ

第11回八千代インターナショナルデイが2016年10月29日（土）フルルガーデン八千代・噴水広場で開催されました。国際色豊かなプログラムは，八千代高校和太鼓部鼓組の躍動感あふれる演奏で開幕し，今夏関東大会７連覇を果たした実力を発揮しました。在日ブラジル人によるファミリーバンドのアットホームな演奏，５名のフルメンバーによるミッドナイト・カウボーイは魅力のカントリーサウンド，ラテン・バリエダは若い日本人女性が歌と楽器で加わり，ペルーの女性ダンサーとともに華やいだ演出を見せてくれました。メガ・ブルーバード英会話スクールによるハロウィンパレードは，仮装した児童が舞台から会場を周辺を一周しました。市民ギャラリーとコラボレーションした

ジャックオランタンのキーホルダー作りのワークショップは，100名以上の参加者があり大盛況でした。八千代高校の生徒さんには，会場設営から運営までお手伝いをいただき，また，東あられ本舗さんには今年も協賛をいただき，本当にありがとうございました。(語学ボランティア部会／瀬下和正)

▼ラテン・バリエダの演奏に合せ，踊りも登場

■市民活動団体フェスティバル2016 フルルガーデン八千代・噴水広場で開催

「市民活動団体フェスティバル2016」が2016年10月30日(日)にフルルガーデン八千代・噴水広場前で開催されました。これは，市内で活動している市民活動団体が一堂に会して，市民との交流，市民活動団体間の交流を促進しようとするもの。今回，八千代市国際交流協会としては，11月６日の日本語スピーチ大会，来年度の姉妹都市タイラー市からの八千代市訪問があるため，これらをお知らせするためのもので，チラシなどを配布して午後４時に終了しました。(国際交流促進部会／鈴木康彦)

▼皆さんと一緒に記念撮影

■第10回八千代市日本語スピーチ大会 今年はコンパクトで質の高い大会に

2016年11月６日(日)に八千代市日本語スピーチ大会が八千代市八千代台東南公共センターで開催されました。このイベントは，地域に住む外国人の方が日本語でスピーチをするものです。今年で10回目という記念大会で，日本人と外国人を交えた参加者は48人となり，その中には国際交流を今後更に積み重ねていきたいという日本人大学生もいました。

スピーチをした外国人は全部で８名。今年は例年よりも参加者は少ないのですが，それぞれの滞日経験を通じて感じたことを話し，聴衆の心を震わせる人たちもいて，大変盛り上がる会となりました。また秋葉市長のあいさつの中で，姉妹都市事業などの国際交流とともに地域に居住する外国人との国際交流・共生も重要で，そのために外国人の方々が日本語を習得することへのサポートも大切だと話されていました。

八千代市国際交流協会会長賞は，中国から来たリュウ・ヤナさんが獲得し，その日本語の流ちょうさに加え，内容の素晴らしさに高い評価が与えられました。スピーチ大会終了後は，参加者間の懇親会が行われ，外国人と日本人，外国人同士，日本人同士との会話やちょっとしたゲームで和気あいあいとした雰囲気の中で，すべてを無事終了いたしました。(日本語指導ボランティア部会／藤江潔)

▼市長さんも一緒に全員で記念撮影

■第９回英語で聞く講演会を開催 併せて一週間の講師作品の展示等を実施

恒例の秋の行事は，今年初めての試みとして市民ギャラリーで一週間(2016年11月25日～12月１日)の展示を行う中，週末の土曜日(11月26日)に英語の講演，日曜日(11月27日)に壁掛け作りを体験するワークショップを開催しました。参加者は老若男女，何れも英語への関心が強い方々でした。展示作品制作者及び講師は，ダイアナ・ペンバートンさんで，姉妹都市タイラー市出身のＡＬＴです。ご自身の専門分野である芸術を視覚で楽しめる形で提供してくれたお陰で，講演内容の理解を助けたという感想が聞かれました。展示会場内の説明文は，すべて平易な英文で紹介してありました。講演会の質疑応答も活発でした。壁掛け作りには親子での参加が多数あり，好きな色で創作を楽しみました。ワークショップには他のＡＬＴのお手伝いもあり，あちこちで英語が飛び交い，和やかな時間でした。(語学ボランティア部会／柴田ひさ)

▼講演するダイアナさん

▼テーマ「Ｉnvestigating Ｉdentity」で行われた講演会

■■タイラー市親善訪問団受入実行委員会 第1回実行委員会を10月23日に開催

国際姉妹都市部会では，2016年10月23日（日）午後３時から第９回タイラー市親善訪問団受入実行委員会の第１回実行委員会を開催いたしました。この日は，実行委員長，副実行委員長，事務局長の７人で執行部会を構成し，各部門の受入事業案を作成し，実行委員会に諮ることが決まりました。執行部会のメンバーは，実行委員長に小林公孝さん，副実行委員長に小川剛毅さん，廣田敬治さん，野神良子さん，小島圭二さん，嶋野勝美さん，事務局長に三橋伸一郎さんが決まりました。タイラー市側と実行委員会との事務的な窓口は，タイラー市側がトニー・タダサさん，実行委員会側は小川剛毅さん，野神良子さんと決まりました。

役割分担の責任者は次のとおりです。①パーティ部門（歓迎パーティア・さよならパーティ／小川剛毅さん，イベント部門（日本文化の紹介・歴史的観光地訪問・市民交流等／廣田敬治さん，総務部門（ホテルの手配・移動バスの手配・通訳等／野神良子さん，ホームビジット部門（ホームビジット受入先の手配ほか／小島圭二さん，計部門（金銭管理及び会計・決算等／嶋野勝美さん。また国際推進班の皆さんもお手伝いしてくれることになっています。**（国際姉妹都市部会／小林公孝）**

▼来年度受入れをする実行委員の皆さん

平成28年度篤行者表彰 喜田茂氏が受賞

喜田さんは1995年に八千代国際姉妹都市委員会に入会し，その後1997年，2000年，2004年，2007年，2010年，2014年のタイラー親善訪問団が八千代市を訪れた際，受入実行委員会に参加しました。市長あいさつ，会長あいさつの通訳及び親善訪問団の案内，通訳を実施したほか，2006年より毎年実施している「インターナショナルデイ」の実行副委員長として，2016年からは実行委員長として活躍しています。このほか2008年から一般市民向けの英語研修会の司会及び実行委員を担当し，ＡＬＴの歓迎会時の通訳，ＡＬＴと市民の語学研修旅行の実行委員長を歴任するなど，ＡＬＴと日本文化の理解と市民交流を深めました。2016年４月には，当協会の副会長及び語学ボランティア部会の部会長になっています。

■■第７回千葉県国際交流協会連絡協議会 今年は香取市で11月８日に開催

第７回千葉県国際交流協会連絡協議会は，2016年11月８日（火）午前10時から香取市の佐原街並み交流館で開催されました。当日の参加者は，千葉県下18の国際交流協会・団体から合計38名でした。八千代市国際交流協会からは，小林会長，小川理事，野神理事の３名が参加しました。

宇井香取市長あいさつの後，参加者は次の各分科会に分かれ，コーディネーターの下で発表と意見交換を行いました。分科会は①協会の活動内容（特色ある活動）について　②2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けての取り組み　③協会と他団体との共生について　④災害時の外国人対応についてで，終了後，まとめを各テーブルのコーディネーターが代表して発表を行いました。分科会の発表後，会場を移し，６テーブルに分かれ，食事を取りながら各協会と交流を行いました。

参加団体は次のとおりです。千葉市国際交流協会，市川市国際交流協会，船橋市国際交流協会，浦安市国際交流協会，佐倉市国際交流基金，八千代市国際交流協会，四街道市国際交流協会，習志野市国際交流協会，木更津市国際交流協会，君津市国際交流協会，富津市国際交流協会，袖ヶ浦市国際交流協会，匝瑳市国際交流協会，印西市国際交流協会，流山市国際交流協会，香取市国際交流協会，ちばコンベンションビューロー，千葉県国際課。**（国際姉妹都市部会／小林公孝）**

▼皆さん熱心に意見交換をしました

会員募集中。詳しくは事務局（TEL.047-752-0593）へお問い合わせください。会費は個人会員2,000円，学生会員1,000円，団体会員10,000円です。

編集後記　今回のクリッピーは外国人の子供向けの日本語教室の特集でした。八千代市市内に約4,300人の外国人が住んでいますが，日本はますます少子化が進み，多くの外国人労働力を受け入れざるを得ない時代になってくると思います。今後は近隣の外国人との付き合い方がますます重要になってくるでしょう。当協会員もこの点を十分に認識しながら，未来のために，どのような八千代市を作って行くかを考える必要があると思っています。（語学ボランティア部会／喜田）

■発行・編集／八千代市国際交流協会（事務局／八千代市村上団地2-9-103 八千代市多文化交流センター内 TEL. FAX 047-752-0593）